

### 第3回万博ロードマップ検討会における主な意見

- ・ オープンファクトリーの取り組みで工場見学を受け入れており、製造から精練、出荷まで一気通貫で丹後ちりめんが完成するのを見ていただきたい。万博は大きなイベントであるため、国内外に大きく発信ができれば我々の組合として考えている思いに近づいていくものとする。
- ・ 新織機の開発という点では、万博までの間で新しい機械を作ることはなかなか難しいが、取り組みは始まったところで、新しいシルクの切り口で作った織物で、航空宇宙分野など機能性を持たせた今までにないようなことを発信できればおもしろいと思う。
- ・ 京都駅からの交通手段が課題になるが、1日1便でも丹後行き専用バスツアーを組むことができないかと考えている。オープンファクトリーには土産物やそれを販売することも必要となるため、企業が土産を開発することで市のふるさと納税産品にも活用できるし、万博終了後も継続した取り組みになれば良いと考える。
- ・ 「長寿よさこい」は高齢者をメインとしつつも、未就学児から幼少期、小学生、中学生、高校生も踊れるような盛り上がりになると良い。
- ・ 100人カイギで機運醸成というフレーズが新しく追加されたが、20回で解散とされている。市民だけを100人カイギの対象とされると思うが、丹後万博後も高校生が海外とつながったり、参加した高校生が未来永劫レガシープレーヤーとして残るような取り組みになれば、より良い会議になると思う。
- ・ 100人カイギのメンバーが10枚ずつステッカーを保有して、泣いている子や遊びに来られた方に渡したり、ステッカーに丹後の魅力を紹介するQRコードを付けるような工夫が出来ればおもしろいと感じた。
- ・ 中学生の総合的な学習の時間で、万博協会が持つ教育プログラムの短期研修などにより、万博の歴史や今回の大阪・関西万博が開催されることとなった背景などを学習し、子どもたちが万博について考えられるワークショップの開催を検討してほしい。